

令和6年度 宜野湾高等学校 学校評議員の運営状況について

1 日時、場所、出席状況等

| | | | | | | |
|-----|----|------------|----|-----------------|----------|-------------------|
| 第1回 | 日時 | 令和6年7月23日 | 場所 | 宜野湾高等学校 小会議室 | 出席 状況 | 評議員4名中3名 職員10名 |
| 第2回 | 日時 | 令和6年12月24日 | 場所 | 宜野湾高等学校 小会議室 | 出席 状況 | 評議員4名 職員10名 |
| 第3回 | 日時 | 令和7年3月18日 | 場所 | 宜野湾高等学校 小会議室 | 出席 状況 | 評議員4名 職員10名 |

2 学校評議員に求めた事項

県立宜野湾高校(全日制・通信制)の教育活動について、委員各々の立場から第三者として見ていただき、教育活動の改善に資するためのアドバイスを求めた。

3 学校評議員の意見

- 高校入試の2次募集がなくなった経緯や要因にはどのようなものがありますか。
- 地域から信頼される取組も重要、心のケアは生徒相談係と管理者が一体となって取り組んでほしい。様々な分野における生徒の活躍は素晴らしい。
- 進学率向上の目標だけでなく、進学先の中退率まで検証された方がいい。
- 図書館の貸出冊数の減少が懸念されます。難しくなく生徒が興味を持てる本を揃えることが大切です。
- ノーSHRの導入で職員の働き方改革により負担軽減されることは良いことだと思います。
- 通信制の生徒の人数が増えた理由は何ですか。
- 高校を社会にでる準備期間と考え地域と関係するような体験を多くさせてください。
- 生徒アンケートで学校の満足度が91%であることはとても素晴らしいです。

4 学校運営に反映した事項

- 高校入試での2次募集がなくなったのは、近隣高校のクラス減、新校舎、学校説明会、国公立大学進学率の向上、部活動に専門の顧問配置されたことなど、様々な要因があると考えられる。
- 地域清掃への取組など継続して取り組んでいきたい。
- 蔵書数を増やすことと、生徒の興味のある分野や視野を広げる読書をさらに推奨する。
- 本校、泊、私立学校も増加傾向にある。中学校でコロナで活動できない反動で高校に入学したが活動できず、週1回通学の通信制に魅力を感じる生徒が増えていると分析している。
- 評議員自身がキャリア形成に係るお話をしてもいいとおっしゃっているので、今後検討していきたい。

5 課題その他

- ノーSHRの実施により、生徒の健康観察の場が減ることへの懸念があるが、生徒自身が時間の使い方を考えて行動できるようにサポートを行っていく。
- 安易な進路選択にならないように、その先にどのような流れがあるのかを考える習慣を身につけさせる。